並木中等story

令和５年２月17日号

独自的であること

本日も伊東博先生の『カウンセリング概論』（全日本カウンセリング協議会出版部）に書かれている内容からです。先生は著書の中で「日本には人と違っていることを“異常である”とする心理的風土があまりにも強い」と話しています。私もそれは感じます。

そのため、日本人はできるだけ“独自的”でないようにしようと努力をしています。今、それが負の方向に働いています。みんなと同じことしかしないのでは、新しい発見は生まれません。新たな挑戦をする人も減ってしまいます。その結果、日本の国際競争力が低下するのです。

“独自的であること”を認めないのは、稲作を続けてきた地域に共通した課題とも言えます。みんなで共同作業をすることが大切だったので、独自色を嫌ったと言えます。しかし、今は違います。独自色が必要な時代になりました。先生は「“独自的”にならないように努力することは、“自分や他人をできるだけ人間でなくなるようにしていること”」と話しています。自分と他人の“独自的であること”を認めていきたいと思います。

《祝　JSEC科学技術チャレンジ竹中工務店賞受賞！》

JSEC2022第20回高校生・高専生科学技術チャレンジ最終審査会（全国大会）で、本校５年野末さんが竹中工務店賞を受賞しました。研究タイトルは「持続可能な社会の実現に向けて～竹繊維を用いてヒートアイランド現象から地球を救う！！～です。おめでとうございます。